Engineer

ランドマーク

スクリーンリーダーで直接移動できるページ内の領域

どのようなものか

ランドマークは、ランドマーク領域、ARIAランドマークとも呼ぶ、ウェブページの一部分です。サイトのヘッダー、主な内容、ナビゲーション、フッターなどの目的を、マークアップで示します。そのため、支援技術が一覧にし、どの部分にも直接移動できます。通常、一つのページにいくつかあり、全体で、画面を見ない人に、レイアウトを伝えます。

WAI-ARIA 1.2は、八つのランドマークロールを定義します。`banner`、`navigation`、`main`、`complementary`、`contentinfo`、`search`、`form`、`region`です。九つ目の`landmark`自身は、仕様のロールモデルにおける抽象的な親で、作成者は使わないよう指示されています。ほかのロールを得るためにも、大半のページでは、`role`属性は要りません。HTML要素が、既にそれを持つためです。

- `main`は`main`ランドマーク、`nav`は`navigation`ランドマークです。
- `header`と`footer`が`banner`と`contentinfo`になるのは、ページ全体に属する場合だけです。`article`、`section`、`main`の中に置くと、通常のページ構造であり、ランドマークではありません。
- `aside`は`complementary`ロールになります。対象になるのは、ページの最上位か`main`の中にある場合です。ほかのセクショニングコンテンツの中では、名前がある場合だけ、ランドマークになります。
- `section`が`region`ランドマークになるのは、アクセシブルな名前がある場合だけです。`aria-label`か、`aria-labelledby`で参照する見出しから名前を得ます。名前のない`section`は、単なるグループです。
- `form`は`form`ロールに対応し、仕様は、作成者にラベルを付けるよう求めます。新しい`search`要素は、`search`に対応します。

仕様は、支援技術に、これらの領域へ素早く移動できるよう求めており、スクリーンリーダーは実現しています。NVDAでは、`D` で次のランドマークに移り、要素一覧で、すべてを一度に確認できます。VoiceOverのローターにも、独自のランドマーク一覧があります。ページを開いた人は、その一覧を開き、バナー、ナビゲーション、メイン領域、フッターがあると聞くことで、一語も読む前に、ページの構成を知ることができます。

概念を判断に生かす

「ランドマークとは？」を実際の判断に生かしましょう。その概念を、開発または購入するシステムに結び付けて考えるお手伝いをします。 読み込みが速く、スマートフォンでも使え、お客様がどのブラウザーを使っていても同じように動く画面を提供します。

サービスを見る お問い合わせ →

用語の背後にある前提を検証する

解説とリンク先の実績を参考に、プロジェクトについての質問を整理してください。ツールを選ぶ前に、前提を一緒に検討できます。 フルスタックのGIS地図開発を指揮 — DBからブラウザーまでのフルスタック地図開発

フルスタックのGIS地図開発を指揮 お問い合わせ →

なぜ重要なのか

ランドマークで決めるのは、ページのすべての部分が、読み上げを聞く人にとって名前で識別でき、移動できる場所にあるかどうかです。典型的なページでは、大半の内容を繰り返します。ヘッダー、メニュー、フッター、多くの場合はサイドバーも、サイトの全ページで同じで、新しい部分は、どこか途中にあります。視覚でページを読む訪問者は、そこへ直接目を向けます。ランドマークがなければ、スクリーンリーダーの利用者は、毎ページ同じヘッダーとメニューの読み上げを最後まで聞くか、見出しをいくつ飛ばせばよいか、推測しなければなりません。

WCAG自身のランドマークの達成方法、ARIA11は、三つの達成基準を満たすのに十分な方法として挙げられています。一つは、ページ間で繰り返す内容のまとまりを飛ばす方法を求め、別の一つは、視覚で読む人が配置から読み取る構造を、ソフトウェアでも使えるよう求めます。最初から `header` 、 `nav` 、 `main` 、 `footer` で作るなら、この方法の負担は小さく済みます。意味は要素に付属し、追加で保守するものがないためです。入れ子の `div` で作ったレイアウトに後から付けるには、より費用がかかりますが、作業の大半は機械的です。

知っておきたい限界は、二つあります。第一に、仕様では、一般的なブラウザーによるランドマーク移動は任意です。そのため、スクリーンリーダーを使わないキーボード利用者には、通常、ランドマークだけでは何も得られず、見えるスキップリンクにも、引き続き意義があります。第二に、多くすれば使いやすくなるわけではありません。一つ一つが、誰かが聞く一覧の項目になり、すべてのまと

まりを名前付き領域にすると、五十行の目次のようになります。仕様は、ページの要約に載せるほど重要な内容に `region` を限り、ほかのロールで目的を表せないときだけ使うよう求めます。

実際の活用例

すべての下層ページで、ブランドマークが、どのランドマークの中にもありませんでした。画面上には、それを示すものが何もありません。構造だけで分かる欠陥の、典型です。サイト全体でWCAG 2.2レベルAAへの対応を進める作業の中で見つかりました。自動化では、適合性の規則だけでなく、ベストプラクティスの規則も有効にして、アクセシビリティーのルールエンジンを実行します。その差は三十規則で、追加規則の一つは、有効にした瞬間に失敗しました。

見逃した理由は、検査側にあります。ブラウザーが正常と判定していた十一の欠陥のうち、二つはページでなく検査側にあり、その一つは、ルールエンジンの百五規則のうち、七十しか動かしていなかったことです。ランドマークの欠落を見つける規則は、単に、実行する集合にありませんでした。教訓は短いものです。規則を含まない規則集合では、その規則を守らせられません。

メインサイト以外でも、会社自身のGitフォージの入口ページは、メインサイトのデザインを手で保守するコピーでした。両者の間で見つかった違いは、どれも、判断の結果ではなく、偶然でした。五つのうち一つは、どのページにも、メインのランドマークも最上位の見出しもないことでした。五つとも、スクリーンショットでは見えません。コピーを削除し、今は、メインサイト自身のテンプレートから入口ページを作るため、構造をまねず、そのまま受け継ぎます。

問題が起きるところ

ランドマークの誤りは、画面には表れず、スクリーンリーダーで聞くとはっきり分かります。よくあるものを挙げます。

内容が、どのランドマークにも入りません。 ロゴ、Cookieの通知、言語切り替えを、 `header` より前や `footer` より後に置くと、ランドマークで移動する人が、そこを飛ばします。axeの `region` 規則は、ランドマークの外にある全内容を報告しますが、WCAG違反ではなく、ベストプラクティスとしてタグが付いています。そのため、WCAGタグだけに絞る実行では動きません。ベストプラクティスの規則を有効にし、はみ出した要素を、本来属するランドマークに移します。

同じロールが、同じ名前で二回現れます。 ヘッダーとフッターの二つの `nav` が、両方とも「ナビゲーション」と読み上げられると、聞く人が、どちらかを推測しなければなりません。それぞれに、 `aria-label` か `aria-labelledby` で、短く区別できるラベルを付け、ラベルにはロール名を含めません。「サイトのナビゲーション」と名付けると、「サイトのナビゲーション、ナビゲーション」と読まれます。

二つ目のメイン領域やバナーが現れます。 部品を重要に見せるため、 `div` に `role="main"` や `role="banner"` を付けたり、テンプレートが下層ページを独自の `main` で包んだりすると、一度だけあるべきロールが二つ読み上げられます。仕様は、一ページの `banner` 、 `main` 、 `contentinfo` を、それぞれ最大一つとし、axeも各規則を持ちます。配置を変えるたびにランドマーク一覧を確かめ、使える場所では、HTML本来の要素にロールを任せます。

すべてのまとまりが領域になります。 部品ライブラリーが、既定ですべての `section` に `aria-label` を付けると、ランドマーク一覧がカードのタイトルで埋まります。ページのどこからでも、そこへ直接移動したいと利用者が考える場合だけ、 `section` に名前を付けます。

次のような形のページなら、聞く人に、区別できる五つの移動先を用意できます。

```
<header><!-- ロゴ、検索 --></header>
<nav aria-label="サイト"><!-- メニュー --></nav>
<main>
    <h1>料金</h1>
    <section aria-labelledby="hosting">
        <h2 id="hosting">ホスティング</h2>
    </section>
</main>
<footer><!-- 連絡先、法的情報 --></footer>
```

参考資料

- WAI-ARIA 1.2：ランドマークロール — 八つのロール、それぞれの目的、ラベルが必要なものです。
- ランドマーク領域 — ロールの選択、繰り返すランドマークへのラベル付け、全内容をどれかの領域に入れることについての、W3Cの作成者向けガイドです。

- HTMLアクセシビリティーAPIマッピング1.0 — どのHTML要素がどのロールになるかを説明します。`header`、`footer`、`aside`、`section`がランドマークになる条件も含みます。
- ARIA11：ARIAランドマークでページの領域を識別する — テスト手順と、満たす達成基準を含む、WCAGの達成方法です。

用語集

実際の制約に合わせて選ぶ

業務の流れ、既存のインターフェース、変更を必要とする利用者をお知らせください。検証可能な納品内容と、お客様のチームが保守を続けられる引き継ぎ内容を定められます。

料金を見る お問い合わせ →

用語を実務に結び付ける

「ランドマークとは？」がお客様の組織にどう当てはまるかをご相談ください。現在のシステムの具体例が一つあれば、話を始められます。

サービスを見る

welcome@engineer.company +45 50 10 61 84 デンマーク、コペンハーゲン

このページを持ち歩く

連絡先カード

心を込めて丁寧に制作： D.

CVR 45969703 · Tagensvej 105C, 3. th, 2200 København N

著作権 © 2025 – 現在 · Engineer ApS · すべての権利を留保します。

印刷元： https://engineer.company/ja/glossary/landmark/